

海外食料需給レポート (Monthly Report) のポイント 国際的な穀物等の需給の見通し (2009/10年度)

穀物全体、油糧種子ともに生産量は消費量を上回ると見込まれるものの、とうもろこし、大豆等の作付けが終盤に入り生育期に移行する南米の天候等に注視が必要。

穀物全体の期末在庫率は 20.6%と前年度(20.7%)並みで、FAOの安全在庫水準(17~18%)を上回る見込み。

○主な品目別の需給

小麦

世界的に豊作となった前年度より生産量は減少するものの、消費量を上回る生産量が確保されると見込まれる。

【生産量：671.9百万トン（▲1.6%）、消費量：648.3百万トン（+1.4%）】

- ◇北半球の2010/11年度の冬小麦の作付けは、主要生産国で概ね終了
- ◇豪州、アルゼンチンで収穫が始まる

とうもろこし

前年度より生産量はわずかに減少し、消費量を下回ることから、需給は引き締まると見込まれる。

【生産量：789.7百万トン（▲0.3%）、消費量：803.3百万トン（+3.6%）】

- ◇米国で飼料及びエタノール原料用需要の増加
- ◇ブラジル、アルゼンチンで作付けが終盤
- ◇中国東北部の干ばつによる生産量の減少
- ◇米国で収穫が大幅に遅れ、水分過多による品質低下懸念

米

前年度より生産量は減少し、消費量を下回ることから、需給は引き締まると見込まれる。

【生産量：432.1百万トン（▲3.1%）、消費量：436.8百万トン（+0.3%）】

- ◇インドでモンスーン期の干ばつによる作付面積・生産量の減少
- ◇フィリピンで台風による冠水で生産量の減少

大豆

面積の増加から生産量は前年度を上回り、消費量を上回る生産量が確保されると見込まれる。

【生産量：250.2百万トン（+18.7%）、消費量：233.4百万トン（+5.9%）】

- ◇中国で大豆（搾油用）の需要の増加
- ◇ブラジルは土壌水分に恵まれ、作付けが平年より進捗
- ◇アルゼンチンは土壌水分不足で作付け遅れ
- ◇米国は大豆の収穫が概ね終了し、史上最高の生産量見通し